

山梨県初の総合学科高校、夢をかなえる8系列。
好奇心旺盛な君、可能性をひろげたい君、
一緒に学んでみませんか？
私たちのこと、知ってほしくて作りました。
甲府城西高校の広報誌「KJ通信」です。



特集 甲府城西のキャリア教育

甲府城西高校の今を伝えるKJ通信です。



甲府城西高校のキャリア教育

【1年次】 1年次では、「産業社会と人間」および「総合的な学習の時間」を履修します。「産業社会と人間」では、社会の変化に対応すべく、自己の在り方生き方について考えさせると同時に基本的な能力や態度、望ましい勤労観や職業観を育成するため、各界で活躍する著名人や本校卒業生による講演会や体験学習を行います。また、「総合的な学習の時間」では、「職業を理解する。山梨を知る。」のテーマのもと、職業人レポートを作成したり、地域の歴史や文化について理解を深める講演会などを行いました。5月には県内の企業・上級学校・博物館を見学し、山梨で働くこと、学ぶこと、生きることについて意識を高めました。

【2年次】 2年次では、「進路を探究する。社会を知る。」テーマのもと「総合的な学習の時間」では、甲府支援学校・盲学校との交流支援活動や夏休みを利用したインターンシップや上級学校研究を行います。9月からは沖縄への修学旅行の事前学習も行っています。

【インターンシップ】 2年次生の就職希望者61名を対象に県内24事業所にお世話になり、夏季休業中の3日間で行いました。インターンシップを通じ生徒は、働くことへの意欲や関心を高めると共に、コミュニケーション能力や望ましいマナーを身につけることの必要性を学びました。さらに地元の事業所で働くことにより地域の将来の担い手となる自覚を持つ有意義な機会となりました。



社会に出るために必要なこと **山本 彪世** 今回のインターンシップでは社会に必要なものは何なのかを学ばせていただきました。私はヤマト運輸甲西センターに行きました。私がこの三日間で学んだことは、時間を守ることや挨拶、社会に出て大切な礼儀作法です。今回行ったヤマト運輸甲西センターの任務は、トラックの助手席に乗りお客様に荷物を届ける仕事をしました。お客様の大切な荷物を時間内に届けることを何よりも最優先し、従業員の方々は時間をしっかり守ることや届けたお客様に丁寧な対応をしていたことがとても印象的でした。このような細かいことが大切だと思いました。従業員の方々は、トラックによって地域がだいたい決まっており、同じ家を回っているので従業員の人とお客は、とても仲が良くとても従業員に信頼感があると思いました。時間内に届けることも最優先にしながらもしっかりお客様とコミュニケーションをしっかりとって、将来はこのような大人になりたいと思いました。



● キャリア教育とは

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと

● 今年度の目標、ビジョン

甲府城西高校のキャリア教育は、「自己の課題に積極的に取り組み想像する力と豊かな個性を身につけ、社会に貢献する生徒を育成する」を目標に多岐にわたる企画を行っています。

【キャリアビジョン形成支援事業 ライフプランニング力育成事業】

宮沢和史氏講演会
9月29日、「島唄」で知られるミュージシャンの宮沢和史氏を講師に迎え、「山梨から沖縄、そして世界へ」講演会を行いました。

講演会お礼のことは
今回この講演会を楽しみにしていた人はたくさんいます。私もその中の一人です。少し個人的な話になりますが、私の姓氏は「宮里」と言います。山梨ではかなり珍しいです。「宮里」とは沖縄の地名で沖縄に多い姓氏です。そして、私には沖縄の血が流れていますが、講演の中で、沖縄の戦争についてお話を聞いて、一番心に残ったので、沖縄での戦争について、話させていただきます。

先程言ったとおり、私には沖縄の血が流れていると言いましたが、それは祖父が出身だからです。さらに戦争を経験しています。沖縄で戦争をしていた当時はまだ幼かったのですが、悲惨な現地を目撃したと聞いています。何度か祖父から話を聞きましたが、その時必ず出るのが、「戦争は決してやってはいけない」との一言です。祖父はすぐに東京へ疎開をしてしまいましたが、それでも現地の様子は鮮明に覚えていて、私に教えてくれました。

そして、宮沢さんのお話を照らし合わせて聞いて、私は改めて、戦争はしてはいけないのだと確信しました。

しかし、今、北朝鮮から何度もミサイルが発射され、日本はいつ戦争が起きてもおかしくない状況を目撃してしまっています。「もう他人事だと言えない」と宮沢さんの話を聞いてそう思った人も多そうです。宮沢さんは私たちに、今生きているのは「奇跡」だと、命の取り引きがあったからだとおっしゃっていました。私は宮沢さんのお話、祖父の体験談から、今ある命を大切にしたいと思いました。もし、あの時、祖父が疎開していなければ、私は今生きていません。この世に生まれてきませんでした。私たちに今があるのは戦争をしていない時代に必死に生き抜いた人から続いている命があるからです。私からも皆さんに今ある命を大切にしたいです。

本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。今日思ったこと、聞いたことは一生忘れません。

過去と未来をつなぐために
宮沢さんの話はとても胸に刺さるものがあった。なぜなら私は十二月に沖縄に修学旅行に行くから。スクリーン上には手足を震わしている子ども、逃げ惑う市民、がまを爆破する外国の兵士、どれも私の目に焼き付いた。宮沢さんは山梨県出身だった。なのに何故、沖縄の歌を作ったり今回のような講演会をするのだろうと思った。宮沢さんのお母さんは戦争で大切な人を失くしていた。そこがきっかけで沖縄戦の話を知り、大きなショックを受けたという。そこで、プロのミュージシャンになつて宮沢さんは作詞をした。「島唄」には沖縄戦への想いがたくさん込められ、意味を説明してもらいながら聴く「島唄」はとても苦しかった。「沖縄が地上戦に選ばれたから、私達は生まれてこれたんだ」と、熱く語る宮沢さんから目が離せなかった。自分の命は決して偶然出来たものなんかじゃなく、そう教えてくれた。

「沖縄ではまだ戦争は終わっていない。不発弾があったり、米軍基地があったり、沖縄県の人々は未だに苦しんでいる。」と言っていた宮沢さん。だから、他県の私に出来ることはそれを忘れてはいけないことだと思ふ。私は沖縄に行つて、表面だけじゃなく、また終わっていない戦争を見てきたい。そうやって、自分自身で感じて、忘れないようにすることが、宮沢さんや沖縄で亡くなった人たちの思いを繋げられる手段だと思う。

二年次 雨宮 裕美

キャリア教育の主な企画

- ・一日看護師体験（1年次）
- ・職業人インタビュー（1年次）
- ・「山梨の活性化〜VF 甲府と新スタジアム」講演会 佐久間悟氏（1年次）
- ・「甲府 開府500年の歴史」講演会（1年次）
- ・卒業生講話（1・3年次）
- ・面接講座（3年次）
- ・「山梨と世界」探求レポート（3年次）
- ・コミュニケーション能力を高める講座（全年次）
- ・作文小論文講座（全年次）

【3年次】 3年次では、「進路を実現する。世界を知る。」を目標に主に進路実現のための進学と就職に分けたコース別指導や「山梨と世界」をテーマにしたレポート作成を行っています。また、昨年からの18歳への投票年齢の引き下げに伴い、主権者として主体的に物事を判断し責任を持って行動できるように、山梨学院大学法学部法学科成澤寛教授による講話を実施しました。



生徒会長 宮里 亜実

【山梨県立大学との連携授業】

今年の1月に山梨県立大学と高大連携協定を結びました。今まで行っていた福祉や看護に関する授業に加え、国際政策学部の先生方と2年次生が「山梨や甲府の街を調査し、良いところや紹介したいところを探し、県外や世界に発信する」という研究テーマで探求活動に取り組んでいます。

探求講座の活動 2年次 佐野拓海、田中涼

山梨の発展を大きなテーマとして、現在は「生そば庵」さんの英語表記メニューの作成プロジェクトを行っている。これまで山梨県立大学の伊藤智基先生と二戸麻砂彦先生、また大学の学生の方々に様々な知識をもらいながら行ってきた。ゼロからのスタートで、最初は見よう見まねで行っていたので生徒のみで問題を解決するのは難しかった。また、講座のメンバーは皆十人十色の個性があるので、意見を一つに合わせることにとても苦労した。度々、県立大学の先生方に経過報告をするが、いつも新しい違う案を提案されて自分たちの視野の狭さを問われることがあった。それでも時間を重ねていくたびに、一人ひとりの意識が変化し、今では少しずつ生徒だけでも活動できるようになった。今後もこの調子で完成させたい。



甲府城西高校のABCとは昨年度の始業式で田之口校長先生が話して下さったことばです A…当たり前のことを B…ばかにせず C…ちゃんとする

昨年着任してから、折に触れて「行動のABC」を伝えてきました。当たり前のこととは個人個人によって様々だと思いますが、生徒の皆さんに期待しているのは、高校生として将来を見越して、今現在すべきことを当たり前に取り組んでほしいということです。



田之口晃士校長

各自にとって当たり前のことをTPOによって判断し、実行していくこと、その結果当たり前に行えることをどんどん増やし、人間として成長してくれることを願っています。

城西生に聞いてみました ~文化部編

僕のABC 私のABC

積極的にALTのロイド先生や部員達とコミュニケーションをとる

語学部 柴田海音



ロイド先生

たくさん意見を出し
たくさん練習し
1人1人が
全力を出す

書道部 梶原莉奈



常に周りを見て行動し
自分から進んで
声をかける

インターアクト部
細川貴帆



支えてくれる人への
感謝の気持ちを
忘れない



吹奏楽部
渡邊ひかる

お茶の心と
感謝の気持ちを忘れず
おもてなしをする。

茶道部 高山紗也加



みんな仲良く
こまめに連絡を取り合う！
積極的に先輩が
後輩に教える

写真部 金子恵未里



作品名 ふたり

あいさつを忘れず
しっかり勉強に取り組み
毎日笑顔でいること
ワープロ・パソコン部



山下莉穂
山本智瀬

新しい発想力
アイデアを仲間と共有
自分らしさ詰め込む

美術部
工藤萌々香



平日頃から
メリハリを
つけ演技力
を高める

演劇部
福島結



相手をしっかり見て
時には相づちを打ち
最後までしっかりと
話を聞く



文芸部 霜山藍花

1人ひとり
個人の能力を上げ
仲間と息を合わせて
楽器を弾く

軽音楽部
渡辺未来



自らの意見をまとめ
仲間と意見を
交換し合い
自分が楽しんで歌う

合唱部 早川秋恵



正しい知識
確かな技術
楽しむ心



自然科学部 三井智理

日々の発声を怠らない！
放送部 橋口愛 清水彩花

infomation

吹奏楽部定期演奏会

平成30年1月13日土曜日に第13回の定期演奏会をコラニー文化ホールで開催します。開演は18時から、入場は無料です。詳しくは学校ホームページをご覧ください。



ポスター画 山本梨莉

総合学科 全体発表会

平成30年
2月14日 水曜日
午後1:35～
体育館で行います

KJ通信 We love Josai.

発行 山梨県立甲府城西高等学校
〒400-0064
山梨県甲府市下飯田一丁目9-1
TEL 055-223-3101
FAX 055-223-3103
URL <http://www.josaih.kai.ed.jp/>
E-Mail: josaih@kai.ed.jp
発行日 平成29年12月1日

